

+1 (プラスワン)

No.17

〒658-0047 神戸市東灘区御影3-7-11
日本キリスト教団 東神戸教会牧師
2016年5月発行

サクラメント 秘跡」

牧師 横山順一

関西では、もうとつくに桜は散ってしまったのですが、安倍首相が四月九日に主催した「桜を見る会」のことが記憶から散りません。会は新宿御苑で催されました。衆院の補欠選挙があったため、いつもより早く開催されたと聞きました。本来ならついこの間の開催だったのです。

毎春の行事で、正直これまであまり気に留めて来なかったのですが、今回の招待客数が「二万六千人」という報道に唖然としたのです。

これは「首相」としての歴代恒例行事らしいです。一九五二年に、当時の吉田茂首相が、戦前に開かれていた春の「観桜会」を参考に、して復活させたそうです。

テレビのニュースでは、桜の下、着物姿の人気アイドルグループに囲まれて、満面に笑みをたたえた安倍首相の姿を報道していました。各界の代表、著名人が招待されるというのですが、皇族や各国大

使、国会議員、中央省庁幹部や自衛官などが中心 当たり前ですね。

これにスポーツ選手や俳優、タレントらが関連団体の政府推薦として選ばれるといえます。全然行きたくはないですけど、私などは絶対呼ばれない訳です、これも当たり前ですがね、(笑)。

それにしても「二万六千人」となると、もし全員に一人三秒会話したとして、十三時間超かかる計算となります。不世話で済みません、八十人集まる関西同信会での自己紹介は一人三十秒以内と固く命じられますから)。

要するに招待主の首相と親しく声掛けできるのは、恐らくほんの一部の人、そしてそれは分かっているで行われる会だということでしょう。

今会の経費はもちろん公費で落ちている、ざっと四千五百万円でした。陸上自衛隊音楽隊による生演奏が流れ、樽酒がふるまわれ、焼き鳥や団子や茶そばも出されました。私と違い、それに釣られる招待客ではないでしょうけど。その前、舛添東京都知事の、豪華な欧州視察が取りざたされまし

た。一泊三十万円のホテルに泊まり、一週間で五千万との、庶民感覚からすれば考えられない費用でした。まったく驚くばかりです。

桜鑑賞自体には異論はありませんし、安倍晋三さんが個人で身内と開催なさるのなら、何も問題はないでしょう。

ただ「首相開催」となると、「花見」以外の意図を疑ってしまうのです。花より団子 談合?」と言えますから。

先月は、世界一貧しい大統領として有名な、ウルグアイのムヒカ前大統領が来日して各地で講演されました。

氏は、世界には王様のようにふるまう大統領や、王子様かという政治家が大勢いる」と語りました。ほんと、うなづく他ありません。

葉桜、そして新緑の美しい季節がやって来ました。ペンテコステもやって来ます。

五月の薫風に、イエスの息吹を感じたいと思います。イエスこそ世界で最も貧しい救い主であり、神の子です。しかし彼は「命」を下さいました。サクラメントです。